

平成29年2月 斐伊川水系水質情報

平成29年2月(宍道湖:3日・中海:8日採水)					単位:mg/l(Chl-a: μg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	3.1	△	やや低い	2.3	○	良好	4.2	△	平年並み
全窒素	上層	0.55	△	平年並み	0.56	×	やや高い	0.92	×	やや高い
全リン	上層	0.042	△	平年並み	0.024	○	良好	0.043	△	平年並み
Chl-a	上層	18	△	平年並み	7.4	△	平年並み	11	△	平年並み
塩化物イオン	上層	1,780	△	平年並み	5,180	○	やや低い	2,980	◎	かなり低い
	下層	1,780	△	平年並み	17,400	×	やや高い	8,860	△	平年並み
溶存酸素	上層	13.3			11.6			12.2		
	下層	13.3			5.9			10.2		

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	3.4	横ばい	2.5	横ばい	3.4	やや上昇
全窒素	上層	0.52	横ばい	0.42	上昇	0.63	上昇
全リン	上層	0.030	横ばい	0.024	横ばい	0.040	横ばい

宍道湖の透明度は1.8mから1.3mに下降。中海の透明度は3.9mから2.6mに下降したが、良好となっている。米子湾の透明度は2.5mから1.8mへ下降。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

↑	★	<非常に高い>
↑	☆	<かなり高い>
↑	×	<やや高い>
↑	△	<平年並み>
↑	○	<良好>
↑	◎	<かなり良好>
↓	○	<やや低い> (塩化物イオン)
↓	◎	<かなり低い> (塩化物イオン)

平均値+標準偏差値の3倍
 平均値+標準偏差値の2倍
 平均値+標準偏差値
 10年間平均値
 平均値-標準偏差値
 平均値-標準偏差値の2倍
 平均値-標準偏差値の3倍

ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…… やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…… 横ばい

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

平均値±標準偏差値の2倍 …… 全体のおよそ 95.5%

平均値±標準偏差値の3倍 …… 全体のおよそ 99.7%